



小田原市立下幼稚園
令和2年7月30日

雨の日も多く、梅雨明けしないまま夏休みを迎えそうですね。戸外遊びは天気の間を見ながらになってしまいましたが、そんな中でも子どもたちは元気いっぱい。新しい生活様式に慣れてきて、友達との関わりや興味のある遊びを伸び伸びと楽しんでいました。今年は感染予防に努めながらという例年とは違う夏になりますが、好奇心旺盛な子どもたちは、家の人のお手伝いや、家族と遊んだりという日々の生活や遊びの中から興味をもち、様々な経験を楽しむことができますと思います。健康に気をつけて楽しい夏を過ごしてください。

今月の子どもたち



砂場では、池を作ったり、トンネルを掘ったりして、水を流してダイナミックな遊びを楽しみました。「だれかー。こっちにも水流して!」「じゃあほく、ここを掘るよ!」友達と力を合わせて楽しみました。



足が見えなくなるまで砂を乗せて、足で砂や泥の感触を楽しんでいました。



ペットボトルのおもちゃを使って、自分の体に水を掛けたり、友達と掛け合ったりして、全身で水の感触を味わいました。



アイス屋、回転寿司屋、金魚すくい屋などのお店を開き、クラスの友達だけでなく、さくら組さんもお客さんになってくれました。さくら組さんに来てもらうことを楽しみに張り切って準備をしていました。いざ、さくら組さんが来るとちょっと緊張気味の子が多かったです。



お店を開くために、みんなで、作戦会議。意見を伝え合いながら、遊びを進めます。

雨の日の合間に畑で草取りをしました。友達と力を合わせ、大きな草が取れたことを喜んだり、バッタを見付けたりしながら楽しみました。



「ネズミばあさんが来るよ。」「みんな逃げろー!」と絵本のストーリーを基にイメージを共有しながらブロックでごっこ遊びを楽しみました。